

関連科目、教科書および補助教材

関連科目	中国語 I
教科書	『新訂 開門！中国語』 小池一郎・名和又介・楠原俊代他著（朝日出版社）
補助教材等	辞書は4年次に購入したものを使用。

学習上の留意点

4年次に学んだ内容を土台にして、更にレベルアップを図っていくので、当然のことながら4年次に習った項目はきちんと理解しているという前提で授業を進めていくことになる。春休み中に一度、4年次で使ったテキストを復習しておく、スムーズに新しい内容に進んでいけると思う。

週に一度の授業の時だけ教科書を開くようでは言葉の習得は難しいので、自学自習も重視して、より多くの言葉を口に出して発音し、より多くの問題をこなす事によって自力をつけていく。4年次の内容も復習しつつ授業は進めるので、地道に実力を積み上げていって欲しい。

なお、「達成度評価」の「その他」は練習問題や発音の出来を言うので、定期試験だけでなくふだんの学ぶ姿勢も評価の対象とする。

担当教員からのメッセージ

5年生は卒業研究や就職活動などで忙しいとは思いますが、技術者として社会に出ると、実際に中国語が必要になる場面も多いので、是非真剣に学んで欲しい。積極的に声を出し、分からない所はどんどん聞いて欲しい。

教科書は必ず購入し、教科書やプリント類を忘れたり、授業時に中国語以外のことをやっている、と減点の対象になるので、そのつもりで受講するように。

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	・第1課～第3課 ・発音編 発展練習	・ピンインと声調符号が正しく読めること。 ・挨拶言葉を正しく使えること。 ・年月日の表現が正しくできること。 ・身体名称を正しく言えること。	当該箇所の復習
2	・第4課～第5課	・人称代名詞や「吧」を正しく活用できること。 ・肯定形、否定形、疑問形で動詞述語文、形容詞述語文、主述述語文を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
3	・第6課	・指示代名詞や疑問詞疑問文、動詞「有」を正しく活用できること。 ・名詞述語文を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
4	・第7課	・「的」や数量詞、場所指示代名詞と方位詞を正しく活用できること。 ・動詞「有」と「在」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
5	・第8課	・「了」や願望の助動詞、選択疑問文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
6	・第8課	・時間を正しく表現できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
7	・第9課	・連動文、動詞の重ね型、二重目的語、可能の助動詞を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
8	・中間試験	・中間まとめとして試験を実施する。	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
9	・第10課	・介詞を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
10	・第11課	・経験を表す「過」と動態助詞「了」を正しく活用できること。	当該箇所の復習
11	・第11課	・お金を使う表現が正しくでき、聞き取りができること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
12	・第12課	・進行と持続の表現を正しくできること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
13	・第13課	・介詞、「是～的」構文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
14	・第13課	・様態補語を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
	期末試験		学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
15	・試験返却、解答解説 ・前期のまとめ	・試験解説により、間違った箇所を確認する。 ・前期の学習事項のまとめを行う。	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	・第14課	・数量補語を正しく活用できること。	当該箇所の復習
17	・第14課	・比較文、「吧」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
18	・第15課	・方向補語を正しく活用できること。	当該箇所の復習
19	・第15課	・使役表現を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
20	・第16課	・結果補語を正しく活用できること。	当該箇所の復習
21	・第16課	・可能補語を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
22	・中間試験	・中間まとめとして試験を実施する。	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
23	・第17課	・受け身文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
24	・第17課	・「把」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
25	・第18課	・兼語文と「快(要)、就(要)～了」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
26	・第19課	・複文を正しく作ることができること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
27	・第20課	・存現文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
28	・第20課	・強調表現を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
29	・読みもの	・長文を正しく解釈できること。	当該箇所の復習
	期末試験		学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
30	・試験返却、解答解説 ・後期のまとめ ・授業改善アンケート	・試験返却、解答解説 ・後期のまとめ ・授業改善アンケート	
総学習時間数			90時間
講義			60時間
自学自習			30時間